

あわら市議会だより

第66号
令和2年11月13日 発行

あぁ、あわら贅沢。
税金にはないぜいたくがあるまち



竹田川



議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

9月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	5p
請願・陳情・意見書等	10p
議案と結果	11p
ふるさと探訪	12p

議会日誌 おもな会議のみ掲載

8月19日	議会運営委員会 全員協議会
28日	第103回議会定例会 開会 予算決算常任委員会
31日	総合交通まちづくり調査特別委員会
9月2日	環境対策調査特別委員会
8日	第103回議会定例会 一般質問
9日	第103回議会定例会 一般質問
10日	議会活性化特別委員会
11日	総務教育厚生常任委員会 分科会
15日	総務教育厚生常任委員会 分科会
24日	産業建設常任委員会 分科会
25日	総務教育厚生常任委員会 分科会 予算決算常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
25日	第103回議会定例会 本会議
30日	予算決算常任委員会 議会運営委員会 広報編集特別委員会 総務教育厚生分科会(2日)
10月6日	産業建設分科会(7日)
13日	予算決算常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
14日	第103回議会定例会 閉会
15日	あわら市議会・加賀市議会 合同要望活動(16日)
23日	広報編集特別委員会 広報編集特別委員会

ふるさと探訪 「林道剣ヶ岳線」

昨年10月、丸岡町山竹田を起点とし、あわらし市牛ノ谷を終点とする森林基幹道剣ヶ岳線が完成した。総延長22,313m、幅員5m、総事業費48億7,200万円、着工から21年の歳月を経ての完成であった(但し、刈安山から牛ノ谷間は治山工事のため来年秋ごろまで通行止め)。

この林道は、林業振興のために大きな役割を果たすと期待されているとのことだが、観光面でも期待できるのではないかなと思う。

多くの市民に親しまれている刈安山は、頂上付近が広場として整備されており、春夏秋を通じて多くの入山者でにぎわっており、その南の水坪山はブナ林が広がっている。林道をさらに南へ進むと、山中へ通じる風谷峠を経て剣ヶ岳(567.8m)が目の前に見えるビューポイントに達する。ここからは坂井平野、日本海が眺望でき、素晴らしい。

林道は、半分くらいしか舗装されておらず、落石もあるが、標高500m位の山の中腹を縫っており、これからは紅葉が楽しめる。(権世市野々から市野々刈安線を上がっていけば剣ヶ岳線に合流します。)(山川)



編集後記

今年も暑い夏が過ぎ今は肌寒さを感じる季節になりました。7月頃から山の木々に立ち枯れが目につくようになりました。「ナラ枯れ」といい、創作の森周辺で顕著です。気づきましたか。特に樹勢の衰えた大木が目立ちます。

専門家に聞くと「カシノナガキクイムシ」がブナ科ナラ類の樹木の奥深くに坑道を掘り、体に付いたナラ菌が幹の水通りを悪くして木を枯らすことが原因で、キクイムシやナラ菌が繁殖し、「ナラ枯れ」をふやしています。

かつての里山は、枯れ木の早期伐採等樹木の手入れが行き届き、このような事態は見られませんでした。

今般の獣害も含めて、自然との関わりを気づかせる一面ではないでしょうか。(山口)

発行責任者 議長 山田重喜
広報編集特別委員会 委員長 吉田太一
副委員長 堀田陽一
委員 山田あけみ
山田志代
山田三郎
山田ひるみ

発行／あわら市議会 編集／あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわらし市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp



**令和2年度
一般会計補正予算**

■監理課

**庁舎管理経費
140万円増額**

委員 今年是非常に暑かったが、空調設備の故障で使えなかったのではない。
また、今頃の修繕は遅いのではない。
理事者 空調設備の故障は7月にメインの機器の故障が判明し、サブの機器で何とか対応していった。これから寒くなり暖房を使用するまでには修繕を終了させます。

■政策広報課

**高度無線環境整備
事業補助金
3千650万円増額**

水さかいケーブルテレビ(株)に対して、回線の光

ファイバ化等に要する経費の一部を補助する。
委員 あわら市が補助をしなければならぬ案件なのか。
理事者 坂井市も補助する予定となっており、歩調を合わせます。
また、財源についても臨時交付金の対象となったので、3分の1の補助をすることを決定しました。

■市民協働課

**空き家財処分
支援補助金
42万6千円増額**

委員 利用見込みはあるのか。
理事者 3件が申請済みで、見込みとして前向きな相談を7件受けています。また、9月7日の時点では、交付決定済みが6件となっています。
委員 家財処分をするための条件はないのか。

理事者 空き家バンクに登録することを条件として、日用品、衣類全て対象となります。
また、補助金の検査として、実績報告を写真付きで提出してもらって確認しています。

■農林水産課

**儲かるふくい型
農業総合支援事業
2千285万
3千円増額**

委員 新規就農者は、1千万円以上の負債を抱えているスタートになる。相対的なノルマがついて回るのが、経営目標はないのか。
理事者 生産の計画、返済の計画も含めて検討され、金融機関から妥当との判断を得ています。

■商工労働課

**年末年始プレミアム
商品券発行事業
4千700万円増額**

委員 商品券の抽選は、どのように行うのか
理事者 世帯一枚(上限4セット)のはがきで応募し、応募者多数の場合は抽選になります。
委員 坂井市内の病院でも対象となるよう考えてほしい。
理事者 商品券は、あわら市限定のものであるため、実施は困難です。

■観光振興課

**西口賑わい施設
カフェレストラン等
整備事業補助金
4千万円債務負担
行為追加**

委員 施設が完成するのは令和4年であるのに、債務負担行為をなぜ今設定するのか。
理事者 12月に運営事業者を決定し交付決定通知を出すため、今回債務負担行為を設定します。

■新幹線まちづくり課

**芦原温泉駅
周辺整備事業
1億841万
4千円増額**

※市道105号線の土地購入・整備工事等の追加が必要となる。また、土地活用検討街区における優良建築物等整備事業に要する経費の一部を補助する。
委員 事業認定のための新聞広告料は、順調に事業が進めば執行しなくてもよいものか。
理事者 事業は順調に進んでおり、現在執行予定はありません。

■教育総務課

**教育振興経費
(小学校)
96万円増額
(中学校)
51万2千円増額**

委員 通信機器(ルーター)の備品購入については入札で行うのか。また設置は業者がするのか。
理事者 両方合わせた金額は、入札対象額となるので入札となります。
また、通信機器(ルーター)は、工事を伴わないものを予定しています。

**給食センター
給食事業経費
58万2千円増額**

委員 補償は牛乳だけなのか。
理事者 牛乳については、年間契約をしており、給食日数が少なかったため、その分の補償額が生じました。
他の食材については、キャンセルなどで対応でき補償問題はありませんでした。

予算決算常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

9月定例会 令和2年度一般会計補正予算(第10号)

2億2,200万5千円を増額

令和2年度一般会計補正予算(第11号)

5,000万円を増額

- 令和2年度一般会計予算総額は194億9,581万6千円に
- 令和元年度各会計の決算を認定



令和2年9月定例会が8月28日から10月14日までの会期で開催されました。
今回の定例会では、専決処分の承認に関するもの4議案、令和元年度の各会計決算の認定等に関するもの8議案、補正予算に関するもの2議案、条例の制定に関するもの1議案、財産の取得に関するもの1議案の計16議案が上程され、すべて原案のとおり承認・可決されました。
なお、今回は8人の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をいただきました。
その他、議員発議による意見書の提出に関するもの2議案を可決し、陳情1件を採択しました。

議会トピックス

あわら市議会・加賀市議会合同要望活動

福井河川国道事務所



金沢河川国道事務所

10月15日、16日にあわら市議会、加賀市議会が合同で「国道8号バイパスの整備促進」について、要望活動を実施しました。

両市議会が、福井河川国道事務所及び金沢河川国道事務所を訪問し、要望しました。また、近畿地方整備局及び北陸地方整備局に対しては、コロナウィルス感染拡大に鑑み、テレビ会議にて行いました。

市政について問う!

9月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



■吉田 太一 議員

- 道の駅「蓮如の里あわら(仮称)」について



■堀田 あけみ 議員

- コロナ禍における観光産業・移住定住の戦略について



■室谷 陽一郎 議員

- JR芦原温泉駅西口施設整備と活用について
- 第2次あわら市総合振興計画後期基本計画策定について



■平野 時夫 議員

- 地域未来構想 20 オープンラボについて
- 公営住宅の入居基準緩和について



■八木 秀雄 議員

- 鳥獣被害の現状と対策について
- あわら感幸創造マイスターについて



■仁佐 一三 議員

- 新型コロナウイルスに感染した場合について
- 松くい虫駆除防御について



■山口 志代治 議員

- JR芦原温泉駅西口の賑わい創出について



■山川 知一郎 議員

- コロナ対策の検証と今後の財政運営について
- 移住促進の効果はどうなっているか
- 農業振興策は

インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



総務教育厚生常任委員会

あわら市手話言語条例の制定

言語としての手話の普及に関する基本理念を定め、それに基づく市民及び事業者の役割、市の債務や施策の推進に必要な基本的事項を規定するものです。

委員登録している手話通訳者や奉仕員で、需要に応えられるのか。

理事者今のところ現在の人数で、対応できています。

委員市長記者会見や議会の一般質問等で、手話通訳を考えているか。

理事者それらに対応する人員確保ができるかどうかも含め、今後議論を深め、検討していきます。

委員軽度の聴覚障害であっても、手話ができるように、身近で手話講習会などを開き、体制を

整えていくことも必要である。

議案外の件

あわら市家族支援介護用品(紙おむつ)支給事業

地域支援事業の対象から外れることから、家族支援介護用品支給事業検討委員会を6月に設置し、内容の見直しを

金津創作の森 美術館倉庫

行っており12月議会において、新基準を示したいとの説明がありました。

美術館は、搬入される作品を外で梱包しては

いけないので、現在の外倉庫はそのまま残し、新たに倉庫兼荷解室を作ることになった。との報告がありました。



手話言語条例議決後の記念撮影

産業建設常任委員会

今回、産業建設常任委員会では、特段の審査事項は、ありませんでした。

議案外及びその他の件

ちはやふるを活用した知名度向上事業

スタンブライリー付きまちあるきガイドブック事業
市内の飲食店や小売店、旅館をめぐり、スタンプを集めると、ちはやふるグッズがもらえる事業の説明がありました。



ちはやふるweek in あわら
オフィシャルガイドブック

市道743号線 災害復旧工事

委員崩れた斜面も含め、山は市有地なのか。

理事者斜面含め、市有地です。

委員いつから市有地となったのか。

理事者旧金津町時代、平成10年頃の開発終了後、道路敷きや周辺の法面など緑地も含めて、寄贈がありました。

北陸新幹線の工事進捗情報

市内の各J.Vの工事状況について、7月末の値で報告があり、現在はこちらに進んでいるとの説明がありました。

芦原温泉駅 周辺整備事業

市道105号線について、ビッグマート高塚店駐車場南側に造成され、県道につながる計画となった報告がありました。

道の駅「蓮如の里」

あわら(仮称)について

吉田 吉崎に新設する道の駅の具体的な戦略はあるか。

市長 従来の「休憩」が利用目的となる道の駅ではなく、地域資源を楽しむなど、「目的地」となる道の駅を目指します。

基本コンセプト(案として)、「三方よし、感幸ステーション」に住む人も来る人も 地域全体も「よし」となる幸せの結節点」を掲げています。

「歴史・文化」「自然」「食」など北部エリアの地域振興の拠点とし、目的の地とすることで、ドライバーのみならず、子どもから若者、シニア層までの幅広い年齢層に利用

用していただきたいと考えています。

吉田 市が設置する地域振興施設の全体構想はどうなっているか。

市長 吉崎観光センター部分に整備を予定しており、坂井北部丘陵地や加賀市の新鮮な農産物、特産品などを並べる販売所を設けるほか、金津創作の森入居作家の作品を展示販売するコーナーや、この地ならではの軽食を楽しめるフードコートの整備を考えています。

また、サイクリングやジョギングなどのアウトドアスポーツの拠点として、シャワールームを備えた休憩施設を整備し



吉田 太一 議員

たいと考えています。

吉田 地域住民との連携は、どこまで進んでいるか。

市長 整備の大きな目的は、地域の活性化に資するということであり、ただ整備すればよいというわけではありません。

地域に愛され、地域が支える道の駅にする必要があり、多くの地区住民に参画をしてもらいながら整備し、将来的にビジネスなどに生かすことも含め、さまざまな地域活動の拠点として生かされることが重要であると考えています。

鳥獣被害と対策について あわら感幸創造 マイスターについて

鳥獣被害と対策について

八木 遭遇したクマから身を守るための講習会は行われているのか。

経済産業部理事 現在、そのような講習会は実施していませんが、遭遇した場合の対処法について、チラシや防災メール等で市民への周知に努めています。

また、人身事故発生前には、クマが民家近くの柿などの果実を食べるなどの兆候があると言われるので、果実や生ごみなどの誘因物の撤去を徹底するよう、市民への周知を図っているところですが。



八木 秀雄 議員

あわら感幸創造マイスターについて

八木 「あわら感幸創造マイスター」制度のセミナーの目指すべき方向性、目的は何か。

市長 「感幸創造マイスター」とは、私が作った造語で、「地域を元気にできる達人」を意味します。

地域資源の魅力に磨きをかけ、それを生かしてさらなる地域の活性化や誘客拡大、新たなビジネスの開発、人材育成などの取り組みを目指します。さまざまな分野で、人を幸せに、元気にする活動や地域づくりをする。また、そうした人を育てることが目的です。

コロナ禍における 観光産業・移住定住 の戦略について

堀田 コロナ禍であわら市の観光振興戦略の見直しや、嶺南との交流を優先していく考えはあるか。

市長 コロナ禍であわら市の観光振興戦略の見直しや、嶺南との交流を優先していく考えはあるか。

市長 新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応すると共に、観光庁の事業を申請中です。

今後、更なる観光地の磨き上げや、新たな着地型旅行商品の造成等、観光振興戦略に掲げる施策や事業を進め、内容や方法を柔軟に見直していきたいと考えています。

堀田 新しい形の滞在型コンテンツ、滞在型観光を考える上で、教育旅行は特に体験型が求められているが、あわら市の利点を活かした体験プロ



堀田 あけみ 議員

中、テレワーク等の環境整備を進める考えはあるか。また、支援は考えているか。

経済産業部長 本市でも高速交通網の整備により、アクセスが飛躍的に向上することから、働く世代の移住希望者が移住先にあわら市を選択することが期待できま

す。

今後、企業のサテライトオフィス誘致や、空き店舗、空き家を活用したシェアオフィスの開発支援など、環境整備については、先進的に取り組んでいる自治体を参考に検討していきます。

新型コロナウイルスに 感染した場合 松くい虫駆除 の防御について

新型コロナウイルスに感染した場合

仁佐 コロナウイルスに感染した場合、どのような対応をするか。

健康福祉部長 8月2日までは県内の保健所で相談を行っていました。が、これからは県の相談総合センターへ問合せする事を勧めています。

仁佐 高齢者や一人暮らしの人が感染した場合、どうするか。

健康福祉部長 PCR検査で陽性と判明した場合、不安を取り除く心のケア、入院の説明など丁寧な対応がなされます。

また、入院費などは指定感染症のため、全て公

費負担です。

仁佐 コロナウイルスに感染すると厳しい調査があり、患者にされると聞かれています。

健康福祉部長 感染者や濃厚接触者等への誹謗中傷は差別行為で許されないことです。

また、これからインフルエンザや風邪の流行が予測されますので、さらなる感染拡大防止を図ります。

松くい虫駆除防御について

仁佐 昨年から今年にかけて松くい虫が大発生している。特に被害が出ているのは、浜坂地区周辺で、昨年・今年と400本以上の被害が出



仁佐 一三 議員

ているが、薬剤散布はしているのか。

経済産業部長 本市の松林は、海岸林として地域の生活を守る大きな役割を果たしています。

海岸林を守る事は重要と考え、カミキリシが成虫になる五月下旬から六月上旬に年二回散布しています。

仁佐 守るべき松林を選定すべきではないか。

経済産業部長 高度公益機能森林と地区保全森林の2つを指定し、そのうち、地区保全森林として、浜坂・吉崎の松林を指定しており、今後も「予防」と「駆除」の防除対策を重点的に実施していきます。

JR荻原温泉駅西口 賑わい施設と 周辺整備について

室谷陽一郎 議員



室谷 JR荻原温泉駅西口に整備予定の屋内ホール内のカフェレストラン・物販店舗は、交通機関の利用者も含め、市民が利用し、憩いになる、親しみが持てる施設にしなければ、継続的にぎわいが創出できないと考える。出店の応募状況はどうか。出店応募業者に対しての審査基準は何か。

となる賑わい施設の中核施設として、十分にアピールできる施設になるものを選択します。

室谷 新幹線開業後1、2年はイベント等で賑わいが創出されるが、その後、イベント関係者も疲弊し、賑わいも消えていき、施設維持だけで精いっぱいという事例が多く見られるが、どう考えるか。

2年はイベント等で賑わいが創出されるが、その後、イベント関係者も疲弊し、賑わいも消えていき、施設維持だけで精いっぱいという事例が多く見られるが、どう考えるか。

副市長 7業者から応募があり、11月下旬に審査を行い、決定する予定です。審査基準は検討中ですが、デザイン性、機能性、経営の継続性がポイントになると考えます。事業者に対しては、4千万円を上限として補助します。ランドマーク

副市長 開業後1、2年で寂れてしまうことは想定していません。一つは、ビジネスホテルができるからです。約120室の部屋数を持っており、稼働率が70%ぐらいにはなるだろうと想定しています。また、荻原温泉駅がそ

もそも3千500人／日の利用客がいる駅であり、新幹線開業後は5千人／日を目指し、イベントなども積極的に展開することで、常に賑わい施設に人が集まることを想定しています。

室谷 aキューブのある金津本陣にぎわい広場の今後の活用をどう考えているか。

土木部長 新幹線開業後、現在の広場の機能は、西口の賑わい施設に集約するので、民間資本を呼び込むことによる飲食施設の整備など、新たな活用を考えております。

JR荻原温泉駅西口の 賑わい創出について

山口志代治 議員



山口 令和2年～4年にかけて14億1千万を

る予定です。

また、イベントについては、荻原温泉駅まちづくりデザイン部会において、同施設の利活用の具体策を検討しています。

今後、賑わいホール、同広場の賑わい創出を

の提携は今のところ行っていない。

どのように市として考

市において、駅利用者

副市長 予定通り事業

市として、駅利用者

副市長 予定通り事業

市として、駅利用者

副市長 予定通り事業

市として、駅利用者

副市長 予定通り事業

市として、駅利用者

副市長 予定通り事業

市として、駅利用者

副市長 予定通り事業

市として、駅利用者

地域未来構想20

公営住宅の入居基準緩和を オープンラボ

地域未来構想20
オープンラボ

平野 「地域未来構想20」の活用、取組み計画はあるのか。

創造戦略部長 地域未来構想20の目的である

新型コロナウイルス対策として、臨時交付金を「指定緊急避難場所改修工事」や「『感幸あわら』県民宿泊客拡大支援事業」、「飲食店応援事業補助金」などに充当したいと考えています。

平野 民間の力を得ながら事業計画を立てた後、内閣府特設サイトに応募し、登録してはどうか。

創造戦略部長 オープンラボへの登録受付は随時

公営住宅の
入居基準緩和を

平野 過去において、入

居募集に当選しても入居に至らなかったことはあるのか。

土木部理事 過去5年

間において、入居が確定された方が、入居決定に至らなかった事例はありません。

平野 連帯保証人の規定の廃止を求める。

また、賃貸保証機構との協定締結をする考えはないのか。

土木部理事 少子化や

平野時夫 議員



高齢者等の増加により、今後、入居者が連帯保証人を確保することが困難になることが予想されることから、連帯保証人の在り方について検討していきます。

また、家賃債務保証業者等の機関による活用についても検討していきます。なお、県内では、現在1自治体が当事業者との協定を検討しています。

平野 他の自治体において税の滞納歴のある者は、入居対象者となるのか。

土木部理事 入居申し込み時の居住市町において、税金等が完納されていれば、対象者となります。

コロナ対策の検証と今後の 財政運営について 移住促進の成果は

コロナ対策の検証
と今後の財政運営
について

山川 現在までに、コロナ禍に対して財政はどれだけ支出されたか。そして、その効果についてはどのように考えているか。

総務部長 これまでに31事業、約34億7千万円となっています。市の負担は4億8千万円余りで、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を充当することとしています。事業の効果については、まだ、コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況ですが、市民生活の

安定や誘客の回復に一定の効果があったと考えています。

山川 今後の税収は大幅に落ち込むと考えられるが、JR駅周辺整備事業などは過大で反対であり、見直すべきではないか。

市長 観光業を中心に厳しい状況にあり、税収も落ち込むと想定されますが、新幹線関連の事業は未来への投資であり、財源を確保したいと考えています。

移住促進の成果は

山川 コロナ禍で、大都市より地方に住みたいという動きがあるが、今年の成果は。

山川知一郎 議員



創造戦略部長 4月から8月にかけて19件の相談があり、6月までに昨年度を上回る3世帯8人が移住してきました。

山川 移住者に対する具体的な支援はあるのか。

創造戦略部長 45歳未満の世帯には15万円、子育て世帯には20万円の支援を創設しました。また、空き家を購入、リフォーム等をする場合には、上限100万円の助成をしています。

令和2年9月

第103回

あわら市議会定例会

議案等の審議結果及び各議員表決

	議決結果	堀田あけみ	室谷陽一郎	山口志代治	仁佐一三	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	卯目ひろみ
市 長 提 出 議 案	専決処分の承認を求めることについて （令和2年度あわら市一般会計補正予算（第6号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて （令和2年度あわら市一般会計補正予算（第7号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて （令和2年度あわら市一般会計補正予算（第8号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて （令和2年度あわら市一般会計補正予算（第9号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和元年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	令和元年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	×	○	○	○
	令和元年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	令和元年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	令和元年度あわら市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	令和元年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	令和元年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	令和元年度あわら市水道事業会計剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	○
請 願 陳 情 議 員 提 出	令和2年度あわら市一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	あわら市手話言語条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	財産の取得について （令和2年度あわら市小中学校タブレット端末購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	令和2年度あわら市一般会計補正予算（第11号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
請願	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願	不採択	×	○	×	×	×	○	×	×	/	×	×	○	×	×	×
陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
議員提出	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○

議員と語ろう会中止のお知らせ

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、春と秋の年2回議員と語ろう会を開催していますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、春に続き、秋の議員と語ろう会も中止とさせていただきます。

委員会・管内視察

各常任委員会において、あわら市内の各事業の現地視察を行いました。

視察先

総務教育厚生常任委員会：地域生活支援センター ハスの実、金津小学校プール、郷土歴史資料館テーマ展、社会福祉法人 悠々福祉会
産業建設常任委員会：J A福井県 坂井カントリーエレベーター、名泉郷災害現場、東谷川機能補償工事、吉崎区土砂災害警戒区域箇所、富津配水場



総務教育厚生常任委員会
【金津小学校プール】
令和2年7月から供用開始



産業建設常任委員会
【JA福井県 坂井カントリーエレベーター】
令和2年5月から本格稼働

討 論

日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願



国連で122の国が賛成して核兵器禁止条約が成立し、現在45か国が批准している。あと5か国が批准すれば、条約が発効するため、核兵器廃絶に向けての画期的な一歩となる。被爆者はもちろん多くの国民の声も、核兵器はなくすべきというものである。



国の専権事項である事柄に対して、一地方議会が否定すべきではない。

- 人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望
- 提出者 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
公益社団法人福井県シルバー人材センター連合
公益社団法人あわら市シルバー人材センター 理事長 圓道 紀夫
- 結果 市へ積極的に取り組むよう要望
- 日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願
- 提出者 原水爆禁止国民平和実行連 世界大会福井県実行委員会
- 結果 不採択
- 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
- 提出者 自治労福井県本部 執行委員長 橋岡 克典
- 結果 採択

請願・陳情
意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。